

旭市消防本部



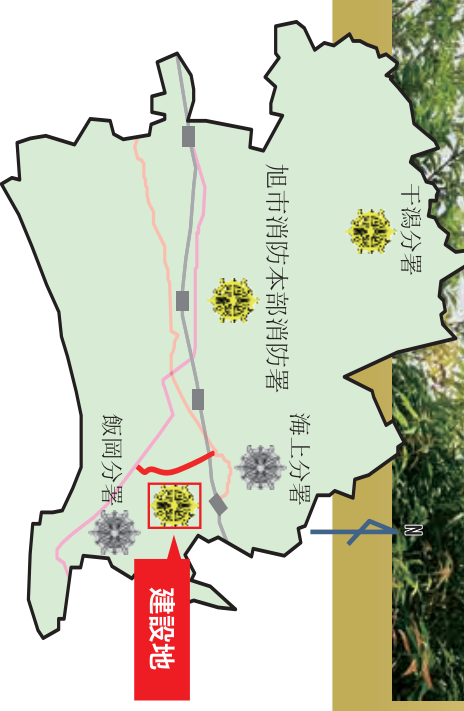
海上・飯岡統合消防分署庁舎完成イメージ

火を消して 不安を消して つなぐ未来

2023年度全国統一防火標語



令和6年3月発行 【編集・発行】千葉県旭市イの2953-1
旭市消防本部総務課
TEL (代表) 0479-63-0119 (総務課直通) 0479-63-5355 FAX 0479-63-7477
火災問合せ 0479-60-4445





旭市消防長
伊東 秀貴

しょうぼうだより第19号の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

はじめに、令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々に、心よりお悔やみ申しあげるとともに、被害を受けられました皆様のご安全と、1日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

令和6年元日、石川県能登地方で発生したマグニチュード7.6の大地震は、津波地震と大火災の発生により、多くの生命と財産を奪いました。私たちは、「いつ・どこで・発生するか予測できない地震」の恐怖と「津波」の猛威、また道路と水道が寸断された状況での火災防御の困難さを改めて痛感し、人命の無事と現場で活動する人達の安全を願いながら見守りました。私たち消防は、東日本大震災を経験して得た、体験と教訓を元に、大災害に備えた消防力の強化と職員育成に努めて参りました。今回の能登半島地震を教訓に、今一度、災害に対する心構えを引き締め、災害対応と防災対策を再確認し、有事の際には、市民の生命と財産を全力でお守りいたします。

市民の皆様には、これまで以上に防災意識を高めていただき、地域の防災と減災への取組みを継続していただきますようお願い申し上げます。能登半島地震では、長期にわたりライフラインが寸断され、多くの人々が避難所生活を送り、緊張と不安な生活を余儀なくされております。大災害が発生した際、被災状況によっては、公助の力が皆様に届くまで時間を要する場合がございます。そのためにも一人一人が「自助」、「共助」を備え、有事の際には迅速、的確、協力的な行動をよろしく願いいたします。

この度、海上分署と飯岡分署を統合した消防分署庁舎を建設いたします。防災拠点施設を新たに整備することで、発生が危惧されている首都直下地震や南海トラフ地震等の巨大地震に迅速・的確に対応できるよう、消防防災体制を強化してまいります。新消防分署は、人員を集約することで多種多様な出動態勢に対応し、海上、飯岡両地域へ、迅速且つ強化した消防力と消防サービスを提供いたします。また、新消防分署を建設する場所は、子供たちをはじめ、地域の皆様にとって思い出深い大切な場所だと承知しております。そのような思いも忘れずに、これからも消防防災活動に尽力し、「災害に強い安全なまちづくり」・「安心して暮らせる社会」を確保していくため、消防団及び関係機関と一致団結し、大きな使命感と責任感をもって取り組んでいく所存でございます。

今後も消防行政の運営に対するご支援、ご協力をお願い申し上げます。

消防関係表彰受章者の紹介

正七位 *瑞宝単光章

(故) 西坂 雅治 さん

昭和57年に旭市外三町消防組合に拝命されました。生前中、特別救助隊としての活躍は現場のみにとどまらず、全国消防救助技術大会でも功績を残されました。また、救急救命士としても、現場の最前線で活躍し、現在の救急体制構築に向け我が身を惜しまず献身的に貢献されました。

第40回危険業務従事者叙勲

*瑞宝双光章

加瀬 寿勝 さん

昭和51年に旭市外三町消防組合に拝命され、42年の永きに亘り、住民の生命、身体及び財産の保護のため堅実に職務を遂行してきました。また、消防長として、消防防災・危機管理体制の更なる発展と、地域住民の福祉の向上と安寧秩序の保持に貢献されました。

令和5年 火災・救急・救助統計

(令和5年1月～令和5年12月)

地域別火災発生件数

地域別 種別	計	旭 地域	海上 地域	飯岡 地域	干潟 地域
出火件数	42	26	6	4	6
火災 種別	建物	24	16	4	3
	林野	5	3	0	0
	車両	2	2	0	0
	船舶	0	0	0	0
	その他	11	5	2	1
死者数	0	0	0	0	0
負傷者数	5	3	1	0	1
損害額 (千円)	64,071	22,695	40,791	71	514

※損害額については概数です。

地域別救急出動件数

地域別 種別	計	旭 地域	海上 地域	飯岡 地域	干潟 地域	管外
出動件数	3,271	2,014	438	436	322	61
火災	26	18	4	1	3	0
自然災害	0	0	0	0	0	0
水難事故	2	1	0	1	0	0
交通事故	247	146	43	15	38	5
労働災害	30	19	2	4	3	2
運動競技	8	2	0	3	3	0
一般負傷	409	254	43	70	35	7
加害	12	10	1	0	0	1
自損行為	32	16	6	3	5	2
急病	2,378	1,455	329	321	230	43
その他 (管外搬送含)	127	93	10	18	5	1

救助出動件数

区別 種別	件数	死者 数	負傷 者
計	59	12	55
交通事故	27	0	40
水難	3	3	0
建物等 による 事故	15	4	9
機械に よる事故	1	0	1
その他	13	5	5

旭市消防本部

予 防 課

について



予防課の仕事

◆火災原因調査

いつ、なぜ、どのように火災が発生したか原因を調査することで類似火災の防止や今後の消防活動に役立てます。

◆防火対象物立入検査

消火器や警報器などの消防設備に不備がないか検査したり、定期的に避難訓練等をしているか検査をします。

◆危険物施設立入検査

工場などに保管されている、石油類等の危険物が適切に貯蔵、取り扱いされているか検査をします。

◆消防確認申請

建築前の建物に消防設備や避難経路の不備がないか、設計業者と話し合い検査をします。

◆イベントでの広報活動、住宅用火災警報器の啓発活動

防火ポスター展の開催や各種イベントに参加し、火災予防の広報活動をしています。



予防課は、火災を起こさない、被害を最小限にすることを目的にしています。



住宅用火災警報器を設置し、定期的に点検をしましょう。

義務のある設置場所は、全ての寝室と2階に寝室がある場合は階段です。
 ※感知器の種類は？→煙式感知器を設置して下さい。
 ※なぜ寝室？→就寝中にいち早く火災に気が付き避難するためです。
 ※台所には？→義務はありませんが、熱式感知器の設置をお勧めします。

第19回防火ポスター展

最優秀作品(旭市長賞)紹介

主催 旭市消防本部 共催 旭市危険物安全協会



萬歳小学校
4年生 高橋 虹七さん



干潟小学校
5年生 小久保 遼馬さん



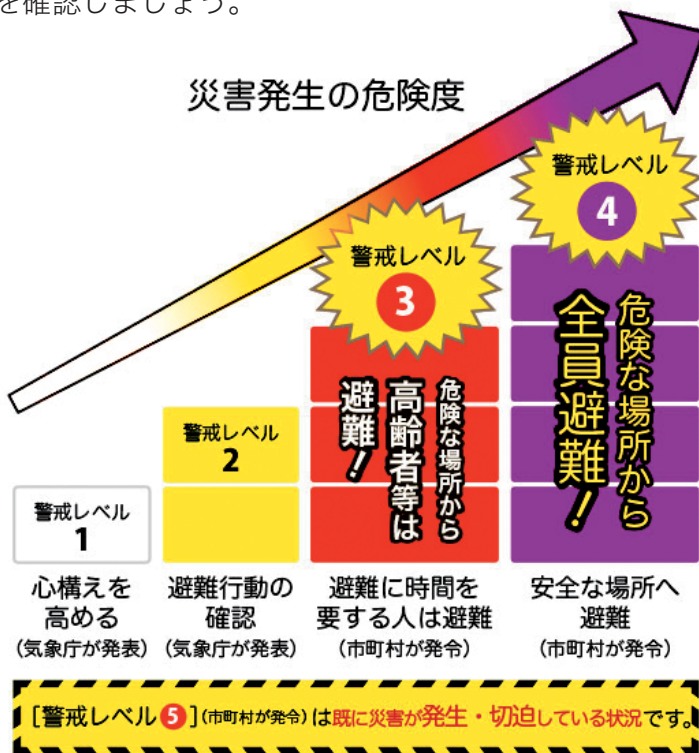
第一中学校
1年生 林 航成さん



干潟中学校
2年生 高木 仁衣奈さん

防災情報の伝え方は5段階

近年、地球温暖化の影響に伴う気候変動により勢力の強い台風が日本へ接近、上陸し大きな被害をもたらすことが増えています。旭市は比較的災害の少ない地域ですが、日ごろの備えや住んでいる周辺の危険箇所は把握しておくことが大事です。今だからこそもう一度、どのタイミングで、どの情報をもとに避難するかを確認しましょう。



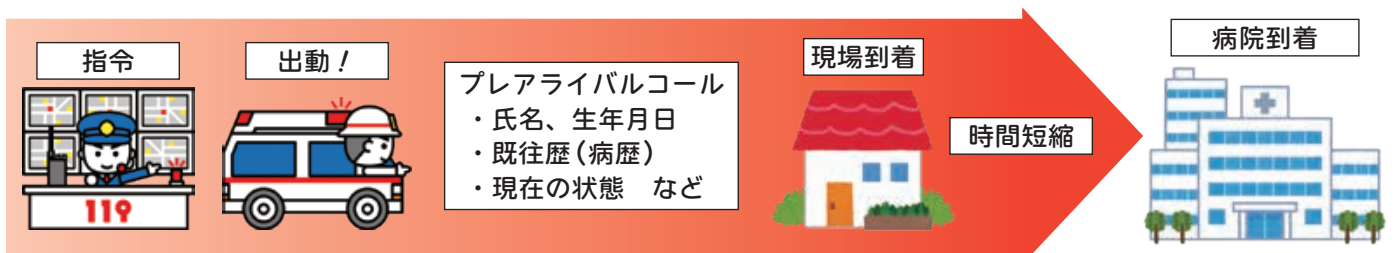
〈イラスト：「政府広報オンライン」より〉

<p>警戒レベル1</p> <p>災害発生の危険性はまだ低い段階です、最新の防災気象情報などに留意し災害への心構えを高めて下さい。</p>
<p>警戒レベル2</p> <p>注意報が発表され、災害発生に対する注意が高まってきた段階です。避難行動の確認をして下さい。</p>
<p>警戒レベル3</p> <p>避難に時間がかかる高齢の方や障がいのある方、避難を支援する方などは安全な場所へ避難しましょう。また、崖沿いや河川沿いにお住まいの方も、この段階で避難することが強く望まれます。</p>
<p>警戒レベル4</p> <p>「避難指示」が発令された状態です。対象地域の方は全員速やかに避難してください。災害発生が極めて高い状況です。</p>
<p>警戒レベル5</p> <p>警戒レベル5になってからでは安全な避難が難しい場合があります。地域の皆さんで声を掛け合って、また、空振りをおそれずにレベル3レベル4の段階で避難を終わらしましょう。</p>

プレアライバルコール実施中

プレアライバルコール (Pre-Arrival Call) とは出動した救急隊から通報者への電話のことです。

救急車が現場に到着するまでの間に病人やケガ人の情報（氏名や生年月日、過去の病気や今の具合の様子など）を通報者から電話で聞くことにより、救急隊が現場でスムーズに活動を行い、病院到着までの時間短縮を目的としています。



119番通報をした後に、知らない番号から電話が掛かってくることがあります。今向かっている救急隊が電話を掛けることがありますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

職員紹介

令和5年度に採用された
新職員を紹介

- ①消防士を目指したきっかけ
- ②消防士になってよかったこと
- ③特徴



石毛 翔 消防士(23)

- ①自分自身が助けていただいたことがあるので助ける側になりたいと思ったため。
- ②地域や社会に貢献している所を実感できる事。
- ③よく笑い明るい!



飯田 真哉 消防士(23)

- ①救急隊が現場で活動している姿をみて自分も同じようになりたいと思ったため。
- ②傷病者を搬送したときに感謝されたことや消防署見学に来た子供たちの笑顔を見れたこと。
- ③釣りが大好きです!



岡本 優樹 消防士(20)

- ①東日本大震災で被災した時に現場で活動している消防士の姿に憧れたため。
- ②市民のために貢献することができやりがいを感じていること。
- ③ポジティブ思考です!

書類作成、事務処理中!



消防には事務作業も多くあることを知りました!

救急救命士として現場を想定した訓練中!



千葉県消防学校入校中!

夜は仲間とトレーニング!
目指せベンチプレス 100kg!



はしご搬送!



口腔内異常なし!



効果測定(テスト)に備えて
自主学習!!



新救急救命士誕生!

救急救命士とは

救急隊員のなかでも医師の指示のもと点滴や薬剤投与など特別な行為(特定行為)を行うことができる救急隊員です。救急救命士になるためには、大学や専門学校、または研修所で特別な訓練や勉強をし国家試験に合格しなければなりません。

大切な命を救うために「一救入魂」頑張ります!



石毛郁治 消防士長(右)
飯田真哉 消防士(左)

3. 呼吸の確認



呼吸なし!

判断できない
わからない!

※10秒以内で、胸やお腹が上下に動いているか確認

4. 胸骨圧迫(心臓マッサージ)



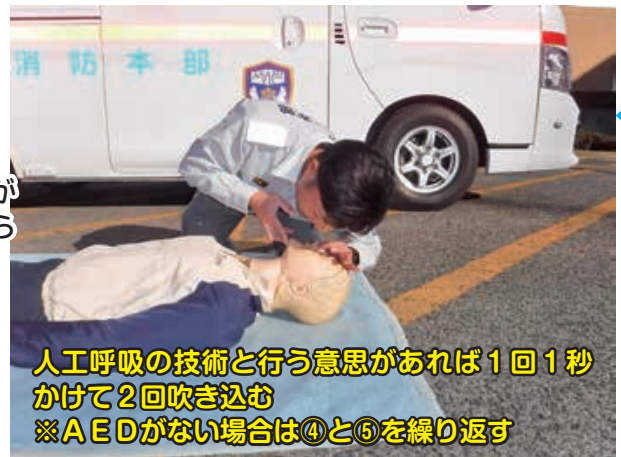
- ・5cm沈むくらい
- ・胸の真ん中を30回
- ・1分間に100~120回のテンポ

6. AEDの電源を入れる



AEDが到着したら電源を入れる

5. 人工呼吸



AEDが届いたら

人工呼吸の技術と行う意思があれば1回1秒かけて2回吹き込む
※AEDがない場合は④と⑤を繰り返す

みなさんのところに救急隊がお伺いし、救命講習を受講することができます!



池の端保育所のみなさん

緊急時の対応を学ぶことができ、修了証がもらえるコースもあります。興味のある方は消防署救急班(63-0119)までお問合せください。

AEDを
用いた

救急救命士 加藤 卓 による

心肺蘇生法教室

しんぱい そせいほうきょうしつ

あなたは
大切な人を
救うことが
できますか？

1. 反応(意識)の確認



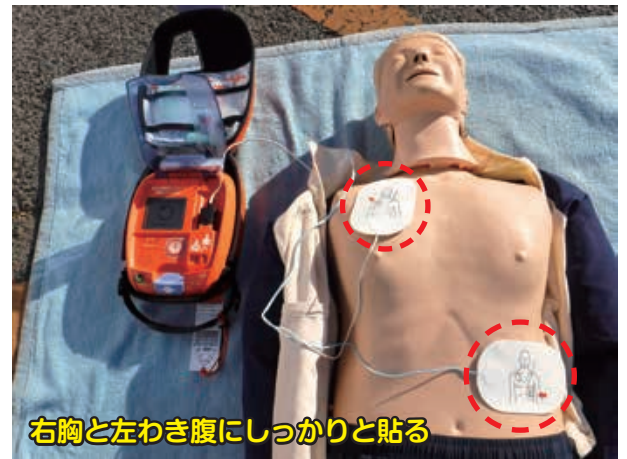
2. 助けを呼ぶ



8. アナウンスに従いボタンを押す



7. パッドを貼る



9. 胸骨圧迫(と人工呼吸)を繰り返す



10. 救急隊に引き継ぐ





旭市消防本部の特別救助隊は昭和49年11月に発足し、令和6年11月で50年の節目を迎えます。昨今の気候変動や都市構造の複雑化により、今まで以上に困難な救助事象が予想されますが、先人が築いた足跡と精神を引継ぎ、救助隊としての誇りを胸に市民の安全・安心のため、さらに前進してまいります。



崖下転落事故対応救助訓練



屏風ヶ浦の崖中腹に転落した負傷者がいると想定し、60mの崖を救助隊がロープで負傷者のもとへ降り、負傷者を救出する訓練です。今年度は飯岡灯台の南側斜面で訓練を実施しました。車両にロープを結び付け、負傷者を崖上まで救出しました。令和5年11月には千葉テレビで放送されました。

☞ 左の写真は屏風ヶ浦です。

右の写真は、崖上にいる隊員達が協力して崖下にいる隊員と負傷者を引上げています。 ☞



☞ 左の写真は、崖を降りた隊員が活動している姿です。崖で活動する隊員はバディ（二人組）でオレンジ色のバスケット担架に負傷者を乗せて、上の写真の隊員達と協力しながら負傷者を崖上へ引揚げます。

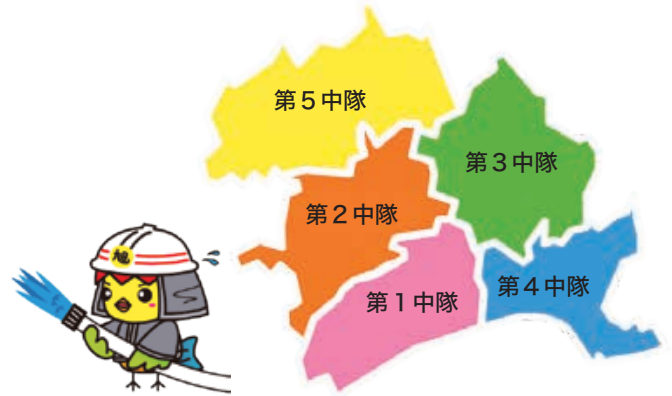
わがまちの消防団員紹介

この度、消防団生活20年という節目に私のような未熟者に千葉県知事功労章という栄えある章を頂き、身の引き締まる思いです。

この20年を振り返ると辛かった事、大変だった事と色々ありますが、それ以上に心強い先輩方や素晴らしい仲間と出会えた事に感謝の気持ちでいっぱいです。

まだまだコロナやインフルエンザと油断の出来ない状況ですが、今後も旭の為に少しでも力になりたいと思いますし、あとに続く人達にも旭を盛り上げていってほしいと思います。

**第5中隊
中隊長 角崎 信夫**



今年度は、新型コロナウイルスが5類感染症となり、インフルエンザ等感染症の影響がありながらも、訓練や活動が再開されました。再開された活動では新たに覚える事、再確認が必要な事等色々考えながらの活動となりました。

今年度も残りわずかとなりましたが、地域への貢献ができるように取り組んでいきたいと思っています。

**第2中隊第6分団
副分団長 実川 明**



4年ぶりに旭市消防操法大会が開催され、地元部が優勝することが出来ました。

団員の努力はもちろん、消防関係者、そして何より地元の方々のご理解ご協力があった結果だと思っています。

ありがとうございました。

昨今は消防団も色々と言われる事もありますが、旭市消防団一丸となって地域の為に尽力していきたいと思っています。

その為には地元の方のご協力が不可欠です！

これからも旭市消防団をよろしくお願いします
m (_) m

**第3中隊第3分団
副分団長 海上 達也**



再入団し、副分団長として感じたことは、自分が団員として活動していた18年前と比べると、東日本大震災を経験し、消防団の役割が、より重要になっているということです。

火災出動時、団員たちの勇猛果敢な消火活動は「頼もしい」の一言に尽きます。

私自身、会社に勤めている身ですので、すべての火災や災害への出動は出来ない状況ですが、有事の際に戸惑うことが無いよう、訓練は意欲的に参加し、消防団員としての的確な行動がとれるよう励んで行こうと思っています。

また、消防団の活動を知って頂くために、地域への貢献活動も大事な事と考えていますので、要望があれば積極的に参加して行きたいです。

**第1中隊第1分団
副分団長 千本松 輝夫**



消防団に入団し、地域防災活動を通じて、消防団の重要性を多く感じ、他の団員と共に活動を行っております。また、災害はいつ起こるかわかりませんが、いざという時に備えて訓練を重ね、地域の安全、安心のために、団員一同一丸となって、消防団活動に努めていきます。今後も地域のご支援ご協力をお願いします。

**第4中隊第2分団
副分団長 菅谷 熱**



**一緒にまちを守ってくれる方
募集してます！**

消防団員を応援しませんか？

消防団サポート店を大募集！！



サポート店
詳細はこちら

この制度は、市内の事業所（飲食店など）が旭市の消防団員やその家族などに、割引など独自の優遇措置を実施することで、消防団員の確保を図り、地域の防災力の強化を推進することを目的としています。また、お店にとっても集客力アップやイメージアップなどの効果も期待できます。

消防団を応援したい！協力するよ！そんな温かいお店を募集しています。ご協力いただける方は、右上リンク先により詳細を確認のうえ申請書を消防本部総務課消防団班までご提出ください。

[A4サイズ]



店舗へ飾る表示証

[名刺サイズ]



団員が持つサポートカード



応援
お願いします

旭市消防操法大会 ポンプ車の部 優勝 第3中隊第3分団第1部



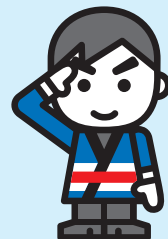
令和5年度旭市消防操法大会

6月4日（日）旭文化の杜公園ふれあい広場で4年ぶりに開催されました。消防団員の負担軽減を考慮し、ポンプ車の部8チーム、小型ポンプの部6チームと以前より参加チームを減らしての大会となり、約3週間に渡る訓練の成果を披露しました。

各部門の上位2チームが、旭市代表として海匝支部大会に進出しました。



←大会結果は
こちら



旭市消防操法大会 小型ポンプの部 優勝 第5中隊第3分団第3部



第63回 千葉県消防協会海匝支部 消防操法大会

6月25日（日）銚子市の千葉科学大学マリーナキャンパス前駐車場で、旭・銚子・匝瑳の各市の代表チームが操法技術を競いました。

最後は消防団員の紹介です



旭市消防団
団長 加瀬 一雄

令和6年団報の発行にあたり一言ご挨拶申し上げます。まず、市民の皆様方には、日頃より消防団活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げますと共に、消防団員皆さんの熱心な消防防災活動に対して感謝申し上げます。

令和6年の始まりに発生した最大震度7を観測した能登半島地震では甚大な被害を及ぼし、多くの人命や財産が失われました。被災された方々には改めてお見舞い申し上げます。元日に発生した今回の地震のように、災害というのはいつ発生するか分からないため、常に災害に備える必要があります。その中で令和5年5月には、新型コロナウイルスが5類感染症となったことで、以前のような活動や訓練を行うことが可能となり、旭市消防操法大会も4年ぶりに開催することが出来ました。そして、消防操法訓練は迅速にホースを延ばし、水を出し、火元に水を正確に当てる

という火災防御の基礎訓練として重要な訓練であると思います。しかし、操法大会への参加が負担になっているという意見もあり、今年度の操法大会では訓練を行いながらも参加チームを減らすことで、団員への負担軽減となるように変更しました。必要な訓練等は今までのように残しつつも、時代にあった変化というものも考慮し、今後もより良い消防団を目指していきたいと思います。

これからも市民の皆様方にご理解ご協力をいただきながら、安全・安心なまちづくりに貢献すべく消防団一丸となり、地域防災に努めてまいりたいと思います。「自分たちのまちを、自分たちで守る」という消防団の理念を是非ご理解を頂き、皆様方からのさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げますご挨拶といたします。

地域の守り手 消防団員 募集



消防団員は年齢も職業も性別もさまざまな方々が集まり、地域の安全・安心を守るために活躍しています。

地元の方々とも良好な関係を築くことができ、火災等の出動時には手当ても支給されます。

あなたも地域防災の要である消防団員として、旭市の安全と安心のために活躍してみませんか？

女性消防団員も募集中です。女性の視点、考え等を活用し、防災活動に参加しませんか？

入団資格 ・18歳以上で、旭市内に在住又は在勤している方

活動内容 ・日頃より災害に備え、消防車両や資機材等の点検、訓練などを行っています。
・火災や台風などの災害時には、消火活動・避難誘導・警戒活動を行います。
・防災イベント等への参加

【お問い合わせ】 旭市消防本部 総務課 消防団班 Tel.0479-63-5355



火災現場での消火活動



火災に備えて消火栓点検



訓練は消防署員からの指導もあります。



警戒活動



旭市消防団 団報あさひ



R5.1.22 雷神社 文化財火災防御訓練

地域の仲間と共に まちの安全守りませんか？

～自分たちのまちは自分たちで守る～

消防団に関することはこちらから